

木協通信

第63号
発行年月日
平成31年3月1日
日田市大字東有田
字新山2776-6
日田木材協同組合
TEL24-2167



☆組合員製材工場 安全パトロール



☆日田木材協同組合百年を語る
この時の組合頭取は横尾順一氏で総代は相良滝六、千原善太、宇野直蔵、中野伍兵衛、稲尾長七、宮崎太市、石井岩吉、原新十郎、桜木卯三郎、栗秋助太郎の各氏で草創期の組合の運営に当たっている。

また機構としては営業所出張所は支配人一名、書記三名、小使一名で、支配人は組合で選任されていた。

当時の共算組合申合契約書によると、組合役員である頭取、総代、支配人の旅費は一里につき一〇銭、書記の旅費は一里につき五銭、滞在日当一日五〇銭、書記一日三〇銭、総代会の日当一日三〇銭であり総代会には議長を要せず頭取は総代の資格を以て総代会に列すべし」とあり。

総代会においては呼出し出頭時間より一時三〇分間を超過し出頭せし者には日当を給せず。この申合せ契約に違約する者は五〇銭以上一〇〇円以下の過怠金を徴収すべし」と厳しく規制し、

また営業所支配人年俸三〇〇円、交際費年六〇円、書記石橋八郎は年俸九六円、小使年給三六円

大川町出張所書記財津政一年俸三二二円、同所書記宮本熊吉年俸八四円、同所小使年給一八円であった。 次号へ続く

☆木材製造業安全衛生管理研修会

毎年、当組合と労働基準協会との共催により木材製造業における自主的安全衛生生活の促進を期すために研修会を開催しています。

来賓の日田労働基準監督署 田中署長よりご挨拶を頂き、林業・木材製造業の全産業に於いて災害発生件数の割合が高くなっていることを報告されました。

続いて、安全管理士石川幹靖氏 林業・木材製造業労働災害防止協会)に、林業労働災害防止計画 木材製造業の着実な実施に向けて」と題し講話を頂きました。 労災の事故は、概ね機械の点検時に停止をしていない事が多いとのことでした。



本年二回目の製材工場安全パトロールを労働安全対策連絡協議会と林災防日田支部、労働安全基準協会の協力を得まして、林業・木材製造業労働災害防止協会、安全管理士の石川幹靖氏とパトロールを行っています。

今回は、(資)イマムラ、稲尾(株)、ヤマイ井上製材所、(有)桜木製材所を訪問しました。各事業所も大きい労働災害はありませんでしたが、今後も事故の起きないよう安全靴や、耳栓の装着等の対策も進めています。

今後も、安全パトロールを巡回して参りますので、組合員製材工場の巡回の際にはご協力を宜しくお願い致します。

☆COC認証及びJAS制度説明会



2月26日、日田木材協同組合2階会議室にて、COC認証及びJAS制度説明会を開催いたしました。

COC認証制度の説明会は、昨年7月と12月の販売会議、今回3回目となりました。組合員17名が参加致しました。講師に大分県林産振興室の松本主幹に来組頂きまして、

- 1 森林認証制度の概要
- 2 SGC森林認証制度の概要と現況
- 3 COC認証の審査方法の概要
- 4 COC認証審査で
事前準備をお願いするものを説明頂きました。
- 5 COC認証取得までのスケジュール

JAS制度については、大分県武道場の建設概要によるJAS材の利用。JAS取得に必要な経費について説明を頂いたところです。

木協としてはCOC認証のグループ認証の取得については、幾つかのパターンが考えられますので、今後も役員会で協議することとしています。

☆平成31年初市 県木青会協賛

1月15日(火)、今年の初市は大分県木材青壮年連合会協賛市という新しい試みで、県内素材生産者をはじめその他各方面より多量のご出荷を頂き関係者の皆様には本当にお世話になりました。

市況は、4材で高値横ばい又は値戻しを見せる展開でした。杉3材でもほぼ全面高で取引され強保合です。桧材は前回弱気配が特に感じられ今回更に下落しました。多数のご出荷、お買い上げありがとうございました。

取扱い材積…一、三五八・三五九m
取扱金額…二六、四一一、一三三九円
平均単価…二二、〇八一円



☆お知らせ

○組合員代表者の届け出について

任期満了に伴う役員選出を、4月に推薦投票にて行います。

被推薦人は、組合員代表者となります。平成30年度の組合員名簿より代表者の変更が有る方は、木協事務所への変更の届け出をお願い致します。平成30年度中に変更された方は不要です。変更の有る方は3月20日までに変更届をお願い致します。

ご不明な点がございましたら組合事務所までお問い合わせ下さい。

○平成30年度木づかい促進事業

豪雨災害による建替え・修繕は随時受付しています。ご利用ください。